

DOMINIC RAAB

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Deputy Prime Minister Between 2021 and 2022
- Held Six Cabinet Posts Including Foreign Secretary, Brexit Secretary and Justice Secretary
- International Lawyer Who Trained in the City and Practised at the Foreign Office, Advising on Shipping, Investment Protection and War Crimes



ドミニク・ラーブは、2人の首相の副首相を務めた最初で唯一の政治家である。彼はまた、外務大臣、EU離脱担当大臣、法務長官を含む6つの閣僚ポストを歴任しました。

2021年から2022年までの副首相としての任務中、ドミニク氏は内閣小委員会の委員長を務め、首相の質問に答え、首相の代理を務めました。彼はまた、英国の権利章典と被害者および囚人法案も出版しました。

ドミニク氏は2019年から2021年に外務大臣を務めていた間、国家安全保障会議、国連安全保障理事会G7議長を務め、また新型コロナウイルスで入院した際には5週間首相の代理を務めた。さらに、外務省と国際開発省を統合し、援助予算から40億ポンドを節約し、C19ワクチン資金の優先順位を守るなどの成果も挙げられます。

2021年、ドミニク氏は英国の10年間の国際戦略である「競争時代のグローバル・ブリテン」を出版し、テクノロジー、貿易、金融サービスにおける英国の比較優位性、ハイブリッドな安全保障上の脅威への適応の必要性、長期的なインド太平洋に焦点を当てた。英国外交政策の傾き。

政界に入る前、ドミニクは国際弁護士として市内で訓練を受け、外務省で勤務し、海運、投資保護、戦争犯罪について助言を行っていました。彼は、特に国際問題、国家安全保障、地政学リスク、インド太平洋分野で豊富な経営経験を持っています。

トピック：

- 世界的な地政学的リスク

敵対国家、組織犯罪、テロ、気候変動、健康パンデミック。

- 英国の外交政策

インド太平洋への傾きと、英国にとってその地域におけるリスクと利益。

- 西側諸国と中国との緊張

台湾海峡での切り離しや戦争回避ではなく、リスク回避が必要なケース。

- 英国のテクノロジー分野の可能性を最大限に引き出す

人工知能と、AIやサイバー攻撃などによるリスクの管理。

- 楽観主義バイアスと悲観主義捕捉

Topics

- Business
- Government
- Leadership
- Politics

経済予測から外交政策に至るまで、公共政策の意思決定における楽観主義バイアスと悲観主義捕捉という二重のリスクを管理します。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988